



たそがれ度

不要な部分を削ぎ落としたようなシャープなボディラインをはじめ、大きくアップしたテールカウルやスラッシュしたサイレンサーなど見ているだけで惚れ惚れする。しかもそのなかにニンジャの血統も感じられるのだから、カワサキファンにとってたまらないスタイルだといえよう

ガス欠
新潟県
村上市



燃費

搭載されているシングルエンジンは各部の軽量化やフリクションロスの低減、高性能インジェクションシステムの採用などにより高い燃費性能を発揮する。今回は一般道よりも、より高回転域を使うことが多かった高速道路の方が若干燃費が落ちる結果となった

高速道路	29.10km/ℓ
一般道路	33.36km/ℓ
ガソリン満タン航続距離	367km

道中の休憩スポット

展望台

晴れている日には那須高原が一望できる那須高原展望台は人気のスポット。全国で100番目の恋人の聖地として登録されたロマンチックな場所でもある。夕日や夜景も美しいので、昼夜問わず多くの観光客が訪れる。近くに温泉もある



カメラマンは見た

今回ニンジャ 250SLで華麗に走った横田さんだが、実は担当編集として、いつもこの企画で走っていた井田さんも同行していた。すると人間横田さんと人間ではない井田さんの2人の差がよく見えるようになった。夜、宿が3人同室だったが、僕と横田さんの寝相はめちゃくちゃだったが、井田さんはマッチ棒のように真っすぐで、夜中も朝起きて寝姿も配置もまったく変わっていなかった。井田さんはどういう仕組みで動いているのだろうか(笑)

←ポジションや振動、お尻の痛さなど走り出す前に感じていた懸念は、どれも杞憂に終わった。生粋のライトウェイトスポーツが1,000kmのロングツーリングでも楽しいことが確認できてうれし限り。やはりバイクの楽しさに制限はないのだ

今月の相棒



Ninja 250SL

レスポンスにすぐれた水冷の高回転型シングルエンジンを、スリムな専用トレリスフレームに搭載。フロントフォークはφ37mmの正立タイプ、リヤはリンク

式のユニトラックサスペンションを装備しさまざまな路面で安定した走行性能を発揮する。特徴的な1灯式ヘッドライトからテールカウルまで続くスリムでシャープなエクステリアデザインを採用。弾けるような加速と軽快な運動性能が味わえるライトウェイトスポーツだ。

SPECIFICATIONS

■全長×全幅×全高：1,935×685×1,075(mm) ■軸間距離：1,330mm ■シート高：780mm ■車両重量：149kg [15i] ■エンジン：水冷4ストローク DOHC 4バルブ並列2気筒・249cc ■ボア×ストローク：72.0×61.2(mm) ■最高出力：21kw(29ps)/9,700rpm ■最大トルク：22N・m(2.2kgf・m)/8,200rpm ■燃料タンク容量：11ℓ ■タイヤサイズ：(F)100/80-17(R)130/70-17 ■価格：45万9,000円[52万3,800] ※[]内はRTエディション

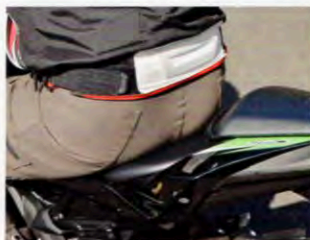
引き起こし

その軽さゆえ引き起こしはかなりのラクな部類。そもそも倒しにくいバイクだが、ハンドルとテールカウル下のくぼみに手をかけ、シッカリと足場を決めて身体をバイクの下に入れるようにすれば、女性や非力な男性であっても比較的容易に起こすことができる



シート快適性

一見するとスポーツ走行向けの薄いシートに見え、長時間のライディングは苦手そうに思える。ところが今回、1,000km走破してもお尻が痛くならなかったのだ。個人的な慣れもあっただろうが、それ以上に座面形状がよかったと考えられる



これぞライトウェイトスポーツ！ニンジャ250SLが持つ魅力は、ツーリング先で出会った初めての峠道でも満喫することができたのだ。今日の宿は日本海に面する新潟県村上市。瀬波温泉に浸かりながら走った1日目の約517kmを振り返る。運動性能の高さがもたらす恩恵はロングツーリングでも大いに感じられた。単に距離をこなすだけじゃなく、道中で楽しみを見出すことができたからだ。個人的にこういうツーリングは大好き。せっかくの旅なのだからできるだけ多くの体験をしたい。単なる欲ばりとも言うが(笑)。懸念していたポジションと振動による疲労はほぼ感じない。もちろんやせ我慢ではない。とくにエンジンの振動がうまく吸収されていたのはうれしい事実。何も不安要素を感じないまま暖かい布団で眠りについた。翌日は天気予報どおりの雨。いつもなら憂鬱な気持ちになるが、ニンジャ250SLとなら「いつてやろーじゃん」という気持ちになるから不思議だ。シングルエンジンの適度なパワー感やウエット路面でも的確なトラクションがかけられ、車体をグイグイ進めていく。こりゃ楽しいじゃん。期せずしてウエットでのインブレを行うハメになったが、予想以上の快適ライディングに大満足だった。

1000km以上走り編集部に着いた時に残ったのは、軽い疲労感と楽しい思い出だけ。天候の悪化をモノともせず長距離を駆け抜けたニンジャ250SLに乾杯したい。やっぱりこのバイク、好きだなあ。

Ninja250SLで走った三大ワインディング

下郷会津本線

路面状況はよく、見通しがよいコーナーが多いワインディング。大内湖の横では視界がぱっとひらけて非常に気持ちが良い。ただしなかにはバイクが苦手とするレコード溝が刻まれているコーナーもあるので、アプローチ時に確認したい。途中、民家が集中している場所があり、生活道路でもあるので地元のクルマの存在も気にしたい。全体に走りやすいが、大内宿など観光地目当てのクルマも多く走っていることを忘れずに。

那須甲子線

両側が森のところが多い峠道。道幅が狭くセンターラインが消えかけている場所もある。しかし見通しのよいコーナーが多く、Rも自然なので走りやすい。ただし全体の2/3くらいの路面は荒れ気味で、ところどころひどい場所もある。タイヤのグリップ感は悪くないが、一部の荒れがひどい場所のグリップは低くなるので速度には注意したい。街灯はかなり少なく夜間走行では気を使いたい。交通量は少なめだが無理はしないように。

日塩もみじライン

道幅は広く、路面状態も悪くないので非常に走りやすい。木に覆われている場所が多く、晴れていると木漏れ日が気持ちよい反面、影とのコントラストで路面状態が読み取りにくいことがある。クルマの通行量は多いので、対向車のみ出しには注意。また景色がよく展望台などもある道。そこに入り切るクルマが不自然な動きをしたり、カーブの途中でクルマが停まっていることもあるので、見通しが悪いコーナーは要注意だ。